

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1007	(H.22)No.	1007
-----------	------	-----------	------

事務事業名	市制55周年記念事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	総合企画政策室	夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	4	広域連携の推進
	施策	1	広域連携
	小施策	3	広域連携ネットワークづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023901
一般会計	(中事業名)	
款 総務費	市制55周年記念事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	市制55周年記念事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
市制55周年及び東京都豊島区との都市交流協定5周年を記念して、平成20年度に豊島区で企画・製作・上演されたジェームス三木作・演出の「池袋わが町」を名張市で上演することにより、本事業を通して豊島区との文化交流を図り、併せて市制55周年記念事業と位置付ける

めざす効果(事業目的)
質の高いプロ劇団の芝居を上演することにより市民の文化意識の向上を図る

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	舞台作品の公演並びに市長や豊島区長等の会談		補助金・交付金		
	歳入内訳 地域の文化・芸術活動支援 助成金 2,978 (財団法人地域創造) 上演分担金 1,500 (豊島区) 入場料 1,123		その他 ()		
事業費 (千円)	5,623		平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(諸収入)	5,601			
一般財源	22				
人工数					
職員(人)	0.49				
臨時職員等(人)	0.10				
人件費 (千円)	3,747				
総費用 + (千円)	9,370				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域間交流による文化・物産等の共同事業への参加回数(延べ数)	-	-	-	-	41
	実績		8	12			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>周年度の実施の検討予定</p>	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>事業を通じて自分たちの住んでいる名張市を再認識することにより、「ふるさと名張」への誇りと郷土愛の醸成を図ることができました</p>
--	--

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text" value=""/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value=""/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value=""/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value=""/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value=""/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value=""/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value=""/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value=""/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value=""/>	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text" value=""/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など <input type="text" value=""/>	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1006	(H.22)No.	1006
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと応援推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	総合企画政策室	夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間		根拠法令等
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	3	持続可能な財政運営
	小施策	2	税財源等の確保
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023801
一般会計	(中事業名)	
款 総務費	ふるさと応援推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	ふるさと応援推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
平成20年4月30日に可決された「地方税法等の一部を改正する法律」で、個人住民税における寄付金税制の拡充の方針(ふるさと納税制度)が盛り込まれたことから、寄付金による支援をまちづくりへの参加手法として整える

めざす効果(事業目的)
恵まれた水と緑の自然環境や先人の築いてきた豊かな歴史・文化などの財産を生かして、誰もが真の幸せを実感できるまちを目指します

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	ふるさと納税の実施に係るPR活動等	ふるさと納税の実施に係るPR活動等	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)		62	62	62	62
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源		62	62	62	62
人工数	職員(人)	0.14	0.11	0.11	0.11
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	1,022	803	803	803	803
総費用 + (千円)	1,022	865	865	865	865

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	ふるさと納税額(暦年)	千円	-	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績			1,125	2,449			
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針	平成21年度は、目標を上回る実績があったが、今後、継続性の保持や新規協力者の発掘等PR及び手法の検討が必要である							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
なし	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 継続性の保持や新規協力者の発掘等制度のPR及び手法の検討を行います。また、寄付をしてもらいやすいように手続きや手法について、研究・検討をします。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	3003
-----------	-----------	------

事務事業名	大学跡地有効活用事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	総合企画政策室	夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 22 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	4	高等教育
重点施策コード		2-7.産業と教育の連携	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	024101
一般会計	(中事業名)	
款 総務費	大学跡地有効活用事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	大学跡地有効活用事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
皇學館大学跡地に近畿大学工業高等専門学校を誘致する

めざす効果(事業目的)
市内の産業・経済界との連携、協力による産官学共同研究などの新たな事業展開、地域活性化をめざす

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		近畿大学工業高等専門学校の移転にかかる改修工事費用の一部を補助する 国1/3 市1/3 近大1/3	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度(計画)	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)
事業費 (千円)		180,000			
の財源内訳	国庫支出金	90,000			
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源		90,000			
人工数	職員(人)	0.51			
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)		3,723			
総費用 + (千円)		183,723			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	校	-	-	1	-	-
	実績		-	-			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今年度終了予定	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
平成22年度事業完了 ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	6012
-----------	--	-----------	------

事務事業名		政策調整費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
企画財政部		総合企画政策室		夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	1	戦略的な都市経営
	小施策	1	戦略的行政の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	023201
一般会計		(中事業名)	
款	総務費	政策調整費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	政策調整費	政策調整費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
重要施策及び特命事項に係る部間調整	

めざす効果(事業目的)	
重要施策、特命事項の円滑な業務推進を図る	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)				
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
主な事業の実績・計画	業務推進のための事務経費		業務推進のための事務経費		平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	業務推進のための事務経費	
	事業費 (千円)	828	2,483	1,568	1,568	1,568	1,568		
の 財 源 内 訳	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他()								
	一般財源	828	2,483	1,568	1,568	1,568	1,568		
人工 数	職員(人)	0.19	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26		
	臨時職員等(人)		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
人件費 (千円)		1,387	2,068	2,068	2,068	2,068	2,068		
総費用 + (千円)		2,215	4,551	3,636	3,636	3,636	3,636		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	名張が「住みよい」「まあまあ住みよい」とする市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			78.9	77.8		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	「名張市の住みごっこ」は、8割近い高い水準ではあるが、近年、右肩下がりの状況であり、市の政策の公表方法等についての検討が必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
なし	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 今後も円滑な業務調整を図ります。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.		(H.22)No.	6013
-----------	--	-----------	------

事務事業名	企画一般経費		
担当部局名	企画財政部	担当室名	総合企画政策室
		室長名	夏秋 佳生
		連絡先	63-7389
新・継	事業期間		根拠法令等
継続	平成	年度 ~ 平成	年度

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	1	戦略的な都市経営
	小施策	3	機能的な組織運営
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023501
一般会計	(中事業名)	
款 総務費	企画費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	企画一般経費	

3. 事務事業の概要

事業概要
行政施策の企画及び総合調整

めざす効果(事業目的)
行政施策の企画及び、総合調整により、円滑な業務推進を図る

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	業務推進のための事務経費	業務推進のための事務経費	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			業務推進のための事務経費	業務推進のための事務経費	業務推進のための事務経費
事業費 (千円)	153	153	153	153	153
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(諸収入)		10		
一般財源	153	143	153	153	153
人 工 数	職員(人)	0.24	0.36	0.36	0.36
	臨時職員等(人)	0.10	0.20	0.20	0.20
人件費 (千円)	1,922	2,968	2,968	2,968	2,968
総費用 + (千円)	2,075	3,121	3,121	3,121	3,121

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	-	-	-	50.0
	実績		-	-			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	前期基本計画に増して、数値目標重視の施策展開が必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
なし	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼

	備考欄
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 今後も円滑な業務調整を図ります。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6014
-----------	-----------	------

事務事業名		広域連携推進事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
企画財政部		総合企画政策室		夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	4	広域連携の推進
	施策	1	広域連携
	小施策	3	広域連携ネットワークづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	023602
一般会計		(中事業名)	
款	総務費	広域行政推進事業	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	企画費	広域行政推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>交流・連携の取り組みを拡大し、名張市の知名度を全国的に高めるため、東大寺サミット、東京都豊島区との交流などに取り組む</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>名張市の歴史・文化や自然、産業等の地域資源、地理的特性を生かした、様々な地域への情報発信や、交流・連携の取り組みの拡大により、名張市の全国的な知名度アップをめざします</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	交流・連携の取り組み	交流・連携の取り組み	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	交流・連携の取り組み	交流・連携の取り組み	交流・連携の取り組み	交流・連携の取り組み	交流・連携の取り組み
事業費 (千円)	30	208	58	208	58
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	30	208	58	208	58
人工数	職員(人)	0.34	0.46	0.46	0.46
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	2,482	3,358	3,358	3,358	3,358
総費用 + (千円)	2,512	3,566	3,416	3,566	3,416

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	-	69.8	-	-	66.0
	実績		64.2	62.2			
活動指標	目標	件	-	-	-	-	5
	実績		4	4			
活動指標	目標	件	-	-	-	-	14
	実績		12	12			
考察及び今後の対応方針	伊賀市並びに伊賀市・名張市広域行政事務組合等と連携して、伊賀圏域住民に「伊賀のよさ」をもっと知ってもらうための、施策展開が必要である。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
東大寺サミットが2年に1回のため、事業費に変動あり	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
民意を取り込んだ広域連携の検討が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6015
-----------	-----------	------

事務事業名	総合計画推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	総合企画政策室	夏秋 佳生	63-7389
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施策	1	戦略的な都市経営
	小施策	3	機能的な組織運営
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	023701
一般会計	(中事業名)	
款 総務費	総合計画推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	総合計画推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
名張市における行政運営及びまちづくりの指針となる名張市総合計画「理想郷プラン」の策定にかかる業務

めざす効果(事業目的)
策定により、豊かな自然と文化に囲まれ、誰もがいきいきと輝いて、幸せに暮らすまちをめざします

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	後期基本計画策定業務		補助金・交付金		
			その他 ()		
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
事業費 (千円)	1,187				
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	1,187			
人 工 数	職員(人)	0.49			
	臨時職員等(人)	0.10			
人件費 (千円)	3,747				
総費用 + (千円)	4,934				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名			単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	名張市が「住みよい」「まあまあ住みよい」とする市民の割合	%	-	-	-	-	81.0
	実績			78.9	77.8			
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針	「名張市の住みごっこ」は、8割近い高い水準ではあるが、近年、右肩下がりの状況であり、市の政策の公表方法等についての検討が必要である。							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
なし	なし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text"/>	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など <input type="text"/>	